

発達・加速はゆるやかに。エコドライブに心がけよう。

Drive Your Dreams. 人、社会、地球の新しい未来へ。TOYOTA

美しい未来のための環境教室

～地球を守るために、できることから始めましょう～

「夏休み親子環境教室」(愛媛新聞社主催) in 松山
愛媛トヨペット空港通本店で親子連れ約50人が参加して環境教室が開かれました。新エネルギーの講義や発電機の実験などを通じ、これからのエネルギーや環境について学びました。

7月22日、松山市空港通5丁目の
環境教室が開かれました。新エネルギーの講義や発電機の
実験などを通じ、これからのエネルギーや環境について学びました。

新エネルギーで地球温暖化防止

まずは「新エネルギー」で地球温暖化を防止しよう。松山市エコリーダークラスの周防元一氏が、わが国や世界で起きている地球温暖化の原因を「エネルギー消費量の増加」とも、二酸化炭素(CO₂)などの温室効果ガスの濃度が高くなっている」と解説。その影響で、海面水位の上昇や異常気象、生態系の変化が問題となっており、またマダガスカルなど熱帯特有の病気が広がる恐れもあることを紹介しました。



松山市エコリーダークラス 周防元一氏

周防さんは地球温暖化の原因を「エネルギー消費量の増加」とも、二酸化炭素(CO₂)などの温室効果ガスの濃度が高くなっている」と解説。その影響で、海面水位の上昇や異常気象、生態系の変化が問題となっており、またマダガスカルなど熱帯特有の病気が広がる恐れもあることを紹介しました。

自然や今まで使われてきたエネルギーを有効活用する「新エネルギー」も重視。えひめこども城(松山市西野町)にある「えひめエコハウス」や、伊方町の風力発電などの取り組みを紹介しました。てんぷらなどに使った後の廃油からバイオディーゼル燃料をつくるバイオマス資源の広がりにも触れ、「きちんとごみを分別しましょう」と呼び掛けました。



さまざまな発電や磁石の力を体感

続いて、さまざまな新エネルギーの体験学

習い子どもたちはソーラーパネル付きの車に電球の光を当てて走らせたり、風力発電の模型に扇風機の風をあて、電気の発生を確認したり。棒を振ったり、手でソンドルを回したりして発電する模型も楽しみました。



同じ明るさの白熱電球と発光ダイオード(LED)電球を比較し、省エネ度や熱さの違いなども学習。消費電力は白熱電球の36ワットに対し、LED電球は6ワット。白熱電球に比べて、LEDはほとんど熱を発生していませんでした。強力な磁石で鉄を分けるごみの分別も学びました。



木炭電池作り 電流発生に驚き

次に、木炭電池を製作しました。木炭を飽和食塩水に浸したウェットティッシュで巻き、その上にアルミホイルを巻きつけます。片側だけアルミを余りぎみにし、全体をさみゆつと絞ると完成です。



子どもたちは「これが電池?」とキョトンとした表情。しかし、周防さんが木炭とアルミをリード線ですぐと電子オルゴールが鳴り始め、大人からも歓声が上がりました。鳴田安珠さん(石井小6年)は「木炭で電気ができるな

ハイブリッドカーの仕組み学ぶ

実験後はハイブリッドカー教室。愛媛トヨペット空港通本店のサービスエンジニア松浦拓哉さんを講師に、トヨタのハイブリッドカープリウスのエンジンやモーター、バッテリーなどを見学しました。ハイブリッドカーの特徴は、ガソリンエンジンと電気モーターという二つの動力を使い分けて走ること。松浦さんは「電気は二酸化炭素を出しません。長時間はもちませんが、二酸化炭素を出しません。それぞれいいところがあるので、この二つを組み合わせると、状況に応じて効率の良い方を判断して走るんです。また、減速するため、ブレーキを踏んだりするとそのエネルギーが充電される特徴も。使用後のバッテリーは分解され、ステンレスや鉄などの原料にリサイクルされていることも紹介されました。



広告

環境にやさしい走りを支えているのは、日本一の技術でした。

全国トヨペットサービス技術コンクール^{※1}で、愛媛トヨペットの菊池選手が全国優勝いたしました。車は約3万個の部品で成り立っています。「ほんの一つでも不備があれば、安全なカーライフを提供することはできない。」トヨタでは昭和41年から、エンジニアのさらなる技術の向上を目指し「サービス技術コンクール」を行っています。故障診断技術競技では、制限時間20分以内に3台の故障箇所を修理するほか、お客さまに対する問診、修理後の説明など、総合的な対応力を判断します。故障の原因は、一部の不具合の場合もあれば、複雑に要素が絡み合っ起る場合もあります。エンジニアには、正確な修理を施す腕はもちろん、故障箇所を見極めるため、各車のシステムや特徴を細かく理解することが求められるのです。第30回大会において、この高度な競技を制したのが、愛媛トヨペット菊池将生選手。知識、技術をこまめに伸ばせたのも、お客さまのカーライフをいつも安全に、もっと快適に、という思いがあるからこそ。愛媛トヨペットでは、急なトラブルはもちろん「最近、調子が悪い。」そんな微妙な変化まで、最高水準の技術で対応いたします。



愛媛トヨペット空港通本店 サービスエンジニア 菊池 将生



プリウス S「ツアリングセレクション」
車両本体価格 252.0万円(税込)^{※2}
Photo: S「ツアリングセレクション」
※デカカラーはシルバーメタリック(1F7)。



プリウスPHV 1.8 S 車両本体価格 320.0万円(税込)^{※3}
Photo: S。ボディカラーはブルーマイカメタリック(8W1)。

愛車のお手入れお手伝い
愛媛トヨペット

空港通本店 / 松山市空港通5丁目7番9号 ☎089(972)0411 お客様相談テレホン ☎0120-118-567 <http://www.heimetoyopet.com> 全店 7時まで営業

●松山駅前店 / ☎089(945)0567 ●カステーション平井 / ☎089(970)1288 ●リビット新居浜 / ☎0897(43)7191 ●大洲店 / ☎0893(25)0821
●小坂店 / ☎089(934)7878 ●三島川之江店 / ☎0896(58)5252 ●今治店 / ☎0898(32)6611 ●宇和島店 / ☎0895(27)0231

※1 2011年10月8日開催。※2 プリウスの価格はスペアタイヤ、タイヤ交換用工具付の価格です。※3 プリウスPHVは、リンク修理キットが標準装備です。※価格はオプション価格は含まれていません。※保険料、税金(登録料、消費税)などの諸費用は別途申し受けます。※掲載の内容は平成24年8月現在のものです。※ボディカラーは撮影、印刷インキの関係で実際の色とは異なって見えることがあります。詳しくは販売店までおたずねください。※自動車リサイクル法の施行により、リサイクル料金が別途必要になります。

もっとクルマの話、しませんか。Answer, for you. TOYOPET